地震災害編

住民の役割

- ●落ち着いて自分や家族の身を守る
- ●地域の地震や水害について知る
- ●防災知識を身につける

みんなで助け合う

阪神淡路大震災や東日本大震災な ど、過去に起きた大きな災害の教訓 から、住民の皆さんの生命を守る局 面で最も大切なことは、住民の皆さ ん自身の力であると言われています。

災害による被害を少しでも軽減す るために、行政が行う防災対策であ る「公助」とともに、自らの命は自 らで守る「自助」、地域の安全は地 域で守る「共助」を高めることが、 防災・減災を実現するうえで、とて も重要です。

地域の役割

- ●協力して消火・救出活動 地域防災活動の推進
- ●顧客、従業員などの 安全確保
- ●地域との助け合い 協力

自助

●被害想定•被害軽減 策の検討 ●地域防災体制の 仕組みづくり

行政の役割

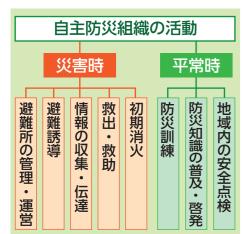
●防災マップなどの

作成及び公表



~災害時にはとても大きな共助の力~

「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもとに地域住民が防災活動に取り組む組織です。



自主防災組織では、災害時に備えた活動のほかにも、平常 時から皆さんの暮らしに役立つ様々な活動を行っています。

■ 阪神淡路大震災の救助割合



阪神淡路大震災では 公的な救助により助 かった人の割合は 1.7%で、ほとんど の人は、家族や近所 の人などに助けられ ているよ。



※兵庫県南部地震における火災に関する報告書 (日本火災学会より)

自主防災組織などの底ぢから

阪神淡路大震災では、家族やご近所によって生き埋めになった人が 捜索され、生きて救出されたケースもありました。自主防災組織や自治 会などを通じて、家族と地域が顔見知りになっておくことが、互いの命 を救い、助け合うきっかけになります。

- 地域の自主防災組織や自治会に加入しておきましょう。
- 地域で協力して、救出道具や医薬品、食料などを準備しましょう。
- 地域で行う防災訓練などの行事に参加しましょう。

避難所は自分たちで運営

災害時には、避難所を自分たちで運営することが求められます。物資の配 布や清掃活動などの様々な避難所での活動をみんなで助け合い、運営して いきましょう。

- 女性や子どもをはじめ、みんなのプライバシーに配慮しましょう。
- スペースの配置は、要配慮者の移動距離などに配慮し、割り振りましょう。

注目!!

共

通

編

水

害

地震編はP25~P26をご覧ください

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる災害です。避難行動判定フローに従い、 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

いいえ

例外

いいえ

ハザードマップ(P11~P20)*1で自宅が どこにあるか確認し、印をつけてみま しょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する おそれの高い区域を着色した地図です。着色 されていないところでも災害が起こる可能性 があります。

色が塗られていなくても、周りと比べて 低い土地やがけのそばなどにお住まい の方は、阪南市からの避難情報を参考 に必要に応じて避難してください。

自宅がある場所に色が塗られていますか?

はい

災害の危険があるので、原則として※2 自宅の外に避難が必要です。



ご自身または一緒に避難する方は避難に 時間がかかりますか?



安全な場所に住んでいて身を寄せられる 親戚や知人はいますか?

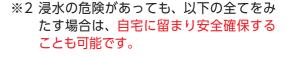


警戒レベル3が出たら、 安全な親戚や知人宅に 避難しましょう。(日ご ろから相談しておきま しょう)

警戒レベル3が出たら、 阪南市が指定している

いいえ

指定緊急避難場所に 避難しましょう。



- ①洪水により家屋が倒壊または崩落して しまうおそれの高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる、 水・食料などの備えが十分にある

安全な場所に住んでいて身を寄せられる 親戚や知人はいますか?



いいえ

警戒レベル4が出たら、 安全な親戚や知人宅に 避難しましょう。(日ご ろから相談しておきま しょう)

警戒レベル4が出たら、 阪南市が指定している 指定緊急避難場所に 避難しましょう。

あなたがとるべき行動を知ったら、 マイ・タイムラインを作りましょう!

33 | General disaster prevention map at Hannan-City